

校歌斉唱

懐かしの母校がよみがえる

穴吹高等学校



大正15年に地域住民から寄贈されたスタインウェイ製ピアノ。歴史を重ねた豊かな響きを毎年のミニコンサートで楽しめる。



レスリング部は県総体三連覇中。2013年の東京国体で優勝するなど、全国的な強豪校として知られている。



設立当初より部活動が盛んな点は穴吹高校の特色。一年生は生徒が何かの部活に登録する制度となっている。



桜に彩られた春の校舎。まさに校歌のとおり、美しい「華の丘」に穴吹高校はある。

穴吹高等学校校歌

作詞 光永正憲 補正 西条八十
作曲 信時潔

- 一、あしたに仰ぐ高越山
夕べにのぞむ吉野川
高く清けき心もて
学びの道を究めんと
ああ日に新たな日に新た
穴吹高校希望は躍る
- 二、旭に映ゆる華の丘
ましろに咲けるさつき花
香りゆかしき姿もて
明るき道をひらかんと
ああ日に新たな日に新た
穴吹高校希望は燃ゆる
- 三、天地の恵み美真の郷
ゆるがぬ日本築かんと
若人われら今ぞ起つ
真理の道をめざしつ
ああ日に新たな日に新た
穴吹高校希望は光る

街を見渡す坂の上にある穴吹高校。ルーツは大正12年4月1日に設立された徳島県立美馬高等女学校。創立二周年記念式典の際、全生徒が校内で吉野桜71本、つつじ紅白各55本などを植樹し、季節の花々が美しく咲きほこる同校の礎を築いた。昭和2年にはその名も華乃丘学園と改められ、校歌の二番に歌われる「華の丘」や文化祭・体育祭である「華の丘祭」へと呼称が受け継がれている。昭和23年の徳島県美馬高等学校を経て、昭和24年に徳島県穴吹高等学校へと至る。現校歌が誕生したのは昭和25年。当時の全生徒・全職員から募集され、光永正憲先生の詩が選ばれた。先生は自分の作に満足することなく、早稲田大学で恩師であった西条八十教授に補正を依頼し、今の歌詞が完成した。松竹映画「愛染かつら」の主題歌「旅の夜風」の作詞家である同氏は、光永先生の詩を何度も何度も読み、一言一句のアクセントに印をつけ補正した。言葉を大切に作る教授だった。そのことがより歌いやすく、生徒の心に残る校歌誕生へと繋がった。

これまで9名ものオリンピック

ク選手を輩出している穴吹高校。校内には「オリンピック記念資料室」があり、偉大な先輩9名のユニフォームや写真などが所蔵されている。昭和24年の同校設立時に赴任した吉田廣一先生がレスリング部、重量挙げ部、男女柔道部を創部。当時の献身的な指導は校内の顕彰碑にも刻まれている。脈々とスポーツの有名選手が育ちつづけ、昭和43年メキシコシティ五輪レスリング銀メダリスト藤本英男さん、近年では平成16年アテネ五輪800m女子自由形金メダリスト柴田亜衣さんを輩出。また、文化面の活動も盛んだ。世界的名器として知られるスタインウェイ製ピアノを大正15年より大切に守り通し、毎年春と秋にはミニコンサートを開催。今年でピアノは90歳。穴吹高校の生徒を見守りながら、華麗な音色を響かせつづけている。



先輩たちの貴重な資料が残るオリンピック記念資料室。事前に連絡すれば一般公開も可能(平日9:00~16:00)。

美馬市穴吹町穴吹岡33
0883-52-2108